

雇用・社会参加促進プロジェクトについて

目 標

雇用環境や社会参加の仕組みを整備することにより、県民誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会を目指す。

達成目標指標名	H24 年度	H25 年度	目標(H29 年度)
自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合	68.6%	70.2%	75.0%

[アクション1 女性の雇用と社会参加の促進]

H25	◇働く女性応援アドバイザーが就業に悩みを持つ子育て期の女性の就業相談を実施(相談件数:997件)
課題	○相談やアンケートから、就職に向けた具体的行動に移せない女性が多く、就職活動の実践につながる適切な支援が必要
H26 新たな展開	◆地方事務所に「女性・障害者等就業支援デスク」を設置しハローワーク求人情報端末を活用した就職支援を実施 ◆ハローワーク長野マゼースコーナーと連携し、就業相談から職業紹介までを一体的に支援するモデル事業を実施

[アクション2 若い世代の雇用と自立の促進]

H25	◇合同企業説明会や学校と企業の担当者面談会などを実施(7回開催、287社、151校、358人参加)
課題	○人材を確保したい県内中小企業の採用を含めた情報が、県出身学生に不足している ○求職と求人とのミスマッチが生じており、県内中小企業の人材確保が急務
H26 新たな展開	◆県内企業への就職支援を、Uターン学生だけでなく県内大学にも拡大 ◆新規学卒者の就職支援や早期離職防止対策など、若者の就労に関わる対策事業を公募(H26.4月開始)

[アクション3 人生二毛作社会の仕組みづくり]

H25	◇「人生二毛作推進県民会議」で高齢者の社会参加に関する課題の把握と改善策を検討(4回開催)
課題	○高齢者を就業や社会参加の場につなげる仕組みや、関係機関が連携するためのネットワークが必要
H26 新たな展開	◆高齢者が第二の人生で積極的に社会参加できる環境を整備するため、長野県長寿社会開発センター支部3カ所(長野・上小・諏訪)にコーディネーターを配置し、関係機関との連携体制を構築

[アクション4 障がい者の社会参加と雇用促進]

H25	◇障がい者の職場実習の場に「OJT推進員」を派遣し、業務提案や実習サポートを実施 ◇企業訪問による障がい者等の求人開拓を実施(求人開拓数:117件)
課題	○障がい者が地域で働くことができる新たな就労先の開拓が必要 ○一般就労に向けた準備段階として、職場実習の更なる受入場所の確保が必要
H26 新たな展開	◆農業分野における障がい者の働く場を拡大するため、コーディネーターを派遣し就労先の開拓と障がい者の作業を支援 ◆障がい者の職場実習を受け入れる企業を30社から60社に拡大

[アクション5 多様で安心できる働き方の普及]

H25	◇子育てや介護等でフルタイム勤務が困難な人でも働きやすい勤務制度を普及(制度導入企業数:36社)
課題	○就業を継続しながら育児や介護ができる企業側の体制整備を更に促進することが必要
H26 新たな展開	◆企業への更なる普及を促進するため導入の先進事例集を作成し、多様な勤務制度の普及を図る

[その他の達成目標]

達成目標(指標名)	計画策定時の現状	最新実績値	目標(H29 年度)
就業率(全国順位)	1位(H22年)	1位(H22年)	1位
県内高校生の就職内定率	99.6%(H23年度)	99.6%(H24年度)	100%
県内大学生の就職内定率	93.9%(H23年度)	94.5%(H24年度)	95.0%
障害者就業率	48.6%(H23年度)	49.0%(H24年度)	55%